帰国研修員レポート

【帰国研修員の活動状況】

帰国研修員のサンドラさん（ボリビア国）から
送付されました現地活動状況の写真集です。

１）報告者　　：コースリーダー　　三木　義男

２）現地ﾚﾎﾟｰﾄ：帰国研修員（ボリビア）

Ms. ADUVIRI CHAMBI Sandra Karina

２０１５年１月２０日

（公財）北九州国際技術協力協会　研修部

～JICA/KITA技術研修を終了後、母国（ボリビア）で活躍されている帰国研修員（サンドラさん）の活動状況を紹介します～

今回、ご紹介する帰国研修員便りは、研修コース「中南米地域　中小企業・地場産業活性化」に参加されたサンドラさんの帰国後の活動状況です。技術研修コースを担当された三木コースリーダーよりサンドラさんの活動についてご紹介して頂きます。

１．今回レポートされた帰国研修員の紹介

名前（通称）	写真	氏名	国名	JICA受入れ研修期間
サンドラさん		Ms. ADUVIRI CHAMBI Sandra Karina	ボリビア	H26/7/29～H26/8/29

【研修コース「中南米　中小企業・地場産業活性化」閉講式の記念写真】

２．コースリーダーからメッセージ

三木コースリーダー

研修中の企業訪問。
前列左がサンドラさん、前列中央が三木コースリーダー

サンドラさんは、ｸﾞﾚｺﾞﾘｱ・ｱﾊﾟｻﾞ女性振興ｾﾝﾀｰ　ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ・資源管理部の技術官です。ｾﾝﾀｰの使命は、女性の権利を経済面で支援することを目的とし、ジェンダー支援する非営利市民機関です。その中で、サンドラさんの役割は、女性の生活と家族の生活状況を改善すべく、女性主導の中小企業に対して、生産性向上策など様々な改革案を策定し、公共部門と協力して実践することです。

サンドラさんは、非常に努力家で、大学卒業後にビジネス系の MBA も習得しています。その後、複数のコンサルタント業などを経て、現職を４年間勤めています。

研修期間の印象は、非常に前向きで、機を得た鋭い質問をしていました。また、非常に行動力があり、何度か私が驚かされ、感動したこともしばしばです。

さて、サンドラさんのアクションプラン活動テーマは、「ｼﾞｪﾝﾀﾞｰｱﾌﾟﾛｰﾁによる中小企業ﾋﾞｼﾞﾈｽｾﾝﾀｰの経営管理の改善」です。施策としては、“任務レベルや中小企業の種類による人材育成プログラム、繊維分野のビジネス経営モデル、中小企業の生産性向上計画やｼﾞｪﾝﾀﾞｰｱﾌﾟﾛｰﾁによる業務組織戦略などを実施することになっています。

それは、日本研修の産学官連携や農村女性の活性化活動などからヒントを得たものであり、非常に実践的洞察力を感じます。常日頃から現実を的確に把握し、その解決を期待する方々の気持ちを理解して、自身が真剣に悩んでいるからこそ湧き出てくるものだと痛感させられました。

ですから、帰国１か月後に活動報告をしてきた訳です。このように真剣に取り組んでいる研修員がいることは、コースリーダーとしては、非常に励みになりますし、社会貢献ができている実感と幸福感を味わえることが出来きます。サンドラさんへの感謝の気持ちで一杯です。

3. サンドラさんが参加された研修コースとプログラム目標

研修コース名　：　「中南米　中小企業･地場産業活性化」

母国での活動

案件目標

参加者の所属組織において中小企業支援･地場産業育成施策が育成される。

日本での研修

単元目標①
日本の中小企業振興施策、地場産業振興および政府機関担当者としての自身の役割を理解し、自国の課題が整理される。

単元目標②
中小企業支援･地場産業育成支援に必要な管理知識･マーケティングを理解し、自国の課題が整理される。

単元目標③
本邦中小企業･地場産業を見学することにより、必要なベンチマークを理解し、自国の課題が整理される。

単元目標④
参加国にあった中小企業･地場産業振興施策を立案できるようになる。

４．帰国研修員（サンドラさん）の活動状況

サンドラさんの活動報告

[第1報]・・・2014 年 10 月 03 日受信（報告文は、スペイン語で記述）

1）概況

８月 29 日JICA研修終了後帰国、その僅か1か月後のアクションプラン進捗報告。

2）活動内容

①日本での学習内容を自国に展開していること。

②エルアルト小規模・零細企業地域連合（注1）と合同で、産学官連携の第１回「エルアルト市の零細企業女性労働者サミット」を開催した。

（注1）繊維、木材、皮革、金属機械、金細工、ガラス製品、小酪農家及びｻｰﾋﾞｽ業者などの異業種生産分野の組合団体

3）要望

自分の活動状況を関係者で共有して欲しい。

・JICA 九州では、研修業務課内での共有化を実施された。

・KITA では、Web サイトで活動状況について公開予定。

[第2報]・・・2014 年 11 月 26 日受信（報告文は、英語で記述）

1）概況

帰国研修員便りの原稿となる所定ﾌｫｰﾏｯﾄ「Report on my recent activities」の提出

2）活動内容

第１報の「エルアルト小規模・零細企業地域連合（注1）と合同で、産学官連携の第１回「エルアルト市の零細企業女性労働者サミット」を開催したこと。

また、そのサミットで、エルアル市長に手渡された「エルアルト市女性企業家と細企業女性労働者サミット宣言文」の行動規則等の文面が追加された。

◆尚、報告資料については、日本語版（翻訳）を参照。（右のリンク資料）

クリックしてレポートをご一読下さい。（日本語版）

[第3報]・・・2014 年 12 月 21 日受信（報告文はスペイン語）

1）概況

基本的のアクションプラン進捗状況報告ですが、今回の報告は追加活動された下記3項目を「Report on my recent activities」にて詳細報告。

①繊維生産チェーン主要アクターの参画

②フランツ・タマヨ代替教育ｾﾝﾀｰにおける若年層実業家育成講座

③バーチャル国際会議「ジェンダーに向けたソーシャルビジネスの創設」

“JICA研修での仲間、ドミニカ共和国ラモンさんとの連携活動”

[参考]ﾄﾞﾐﾆｶ共和国ﾗﾓﾝ氏：産業貿易省中小企業副省中小企業ｱｼｽﾀﾝﾄｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ

2）サンドラさんからのコメント

JICA研修で学んだ、「一村一品のアンテナショップ、企業センター」での経験を適用しました。また問題解決方法についても実践しています。

５．サンドラさんからの帰国後活動報告を受けてのコースリーダー所感

１）今まで、ＪＩＣＡ研修を担当させて頂きましたが、これだけ頻繁に活動報告を受けたことは、皆無です。サンドラさんを非常に誇りに思いますし、制度としてＫＩＴＡサイドで、“帰国研修員便り”の仕組みが出来たことも一要因だと思います。

２）見知らぬ間柄の人々が、ＪＩＣＡ研修に集い、そこで、切磋琢磨して、帰国後、同じ悩みを持つ者同士が、共同作業で行動することは、ＪＩＣＡ研修で大いに望むことであり、今回、実現したことも私の感動することです。

３）私にとりましても、今後のＪＩＣＡ研修でのスパイラルアップをすることが出来ます。つまり、現地で役だったことは増々レベルアップし、不足については補完していけるからです。
これもフォローアップの成果であると痛感しました。

６．研修期間中の写真集

ＪＩＣＡ－ＫＩＴＡ研修コースの写真集　（２０１４年７～８月）

古野理事長から修了書を授与されたサンドラさん

講義終了後の記念撮影

勉強中の研修員皆さん

研修訪問先での研修員皆さん

日本食（お寿司）は、大好きです

他国から参加された研修員と供に

休日のサッカー観戦（ＫＩＴＡ主催）

サッカー観戦後の花火大会

以上

ＫＩＴＡ 様

最近の活動報告

1) 研修員名	**Sandra Aduviri Chambi**　（サンドラ）
2）JICA 研修コース名	中南米地域　中小企業・地場産業活性化コース
3) 国名	ボリビア
4) 報告書名	ボリビア、エルアルト市の女性主導の零細企業のための共同戦略

≪内容≫

グレゴリア・アパザ女性振興センターは、社会的機関であり、女性の権利向上を経済ベースで支援するという使命の中、社会的、経済的、環境的な実態を考慮しながらジェンダー支援することを目標に、低価格での企業間交流を達成し、女性の生活とその家族の状況改善に貢献するべく、女性主導の中小企業に対して、費用をかけずに生産性を向上させる方法を確立させようと模索しています。

そのためには、様々な改革案に焦点を当て、策定することができるよう、公共部門と協力して行動することが重要です。また、地方の市場に効果的に参加、特に主導権を持って参加できるよう様々な支援機関同士で連携することも重要になってきます。

実際、エルアルト市では、女性生産者および零細企業女性労働者の強化運動が推進されています。それによって、彼女達は、検討プロセスと具体的行動を正しく概念化して実行するようになりますし、それが、ひいては、公共区域およびボリビア国家の主要州政府、省庁や地方自治など異なる政治レベルの計画やプログラムの作成・実行に対して政治的な影響力を持つことになります。

繊維、木材、皮革、食品、金属機械、金細工、ガラス製品、小酪農家およびサービス業者など異なる生産分野の組合を代表するエルアルト小規模・零細企業地域連合（FERM y PE）と合同で、第１回「エルアルト市の零細企業女性労働者サミット」を開催しました。このサミットによって、生産分野への女性労働者の参加がより推進されると同時に、経済分野における生産工程と世界的な再生サイクルを統合させる公共政策の策定と実施が実質的にさらに重要になりました。

この活動内において、中小企業副省、ボリビア　カトリック大学所属生産性・競争力学部、プロボリビア並びに内国税社会還元部門の資材を投入するという提言を公式宣言の中で強調しています。

当サミット中、ボリビア―チリ全国中小零細企業連合（BOLIVIA-CONAPYME）の中の小規模零細企業国民連合立会いの下、エルアルト市長に最終結果が手渡されました。

（ここに当該宣言文を引用します）

エルアルト市女性企業家と零細企業女性労働者サミット宣言文

2014 年 9 月 30 日と 10 月 1 日の２日間、サンティアゴのアリカのコンベンションセンターにてエルアルト市女性企業家と零細企業女性労働者サミットが開催された。この会議で分析・討論された様々な課題に基づいて、以下の宣言文を作成する。

エルアルト市には生産産業やサービスに従事する重要部門や生産品目が存在することは明白であり、生産から、商取引、マーケティング、貸付、技術振興、社会保障、商法、税、住宅建設プログラム、介護支援に至るプロセスの強化が必要である。

エルアルト市は、地域議会の一つであり、変化に敏感であることを主要因とし、更に、実際、地域経済や家族環境という要因をも背景として、様々な生産品目に多くの女性が参加し、広く起業している。他方、家庭内暴力や家庭内の責任、家族の介護問題など、主導力や生産活動を伸ばす上で困難があることも明らかである。

これに対して、生産発展・複合経済省所轄の小規模・零細企業副省の代表達は、保証積立準備金や直接の商取引といった資金の活用、協会基本規則、雇用、技術形成や革新に密接に関わる独自セクターに焦点をあてた公共政策を実施していることを認めている。これらのプログラムの中で、最も重要なものは、包括(インクルージョン)プログラムと生産ユニオンで、収益と生産性を向上する資源を統合することを目的とした中小企業国家開発プログラム（JIWASA）である。

エルアルト市在住で、様々な生産プロセスに携わる女性達は JIWASA プログラムの発表に関心を抱いている。これにより、様々な分野において、より効果的かつ積極的に、問題や限界の解決の場に女性がきちんとした形で参加できるようになるからである。

また、私達は、国家税務局から税法に関わる社会保険番号（SIN）、自営業者に対する退職金支払いの統合システムに加え、退職金や保険証券（APS）の財政上の管理運営などの情報も入手した。この関係から、これらの機関がそういったテーマに関する必要な情報や研修を提供することも確約してくれた。

前述の事柄に対して、エルアルト市の女性企業家、零細企業家、生産事業者は、生産部門に参加し、存在を確立できるように、以下の行動規則を定める。

1. 生産ユニットを構築し、その場における女性参加を主な目的として、様々なネットワークや社会組織、主にエルアルト零細企業地域連合 (FERM y PE)に積極的に参加し、主導者となる。

2. ボリビア政府が零細企業部門向けに実施する様々なプログラムやプロジェクトに女性は不可

欠であり、主要な参加者だと考えさせること。そして、男性とは異なる母親兼生産者という役割を持つ女性の事情を考慮させること。

3. 生産部門の様々な分野に対する女性参加の特徴および女性の起業が生計の支えになることを考え合わせると、JIWASA の生産プログラムや包括プログラムの中で女性を最優先にすべきである。

4. 社会労働雇用省（MTEPS）による雇用支援プログラム（PAE）という就労保証に関する労働包括プログラムは、零細企業構築の特性を、企業が親族で構成され、その多くが、他人の関与を認めないことであるとみなしている。そこで、そのプログラムに２、３名の女性労働者を含めることを我々は求める。

5. 新しい貸付プログラムは、貸付を直接得るために保証金を準備して条件を満たさなければならない女性零細企業家が抱える苦労を考慮すべきである。女性の大部分は貸付を利用できる十分な財産を持たないからである。また、女性が貸付条件を完全に満たした時点で、必要であればその保証金を減額すべきであろう。

6. この部門への支援プログラムは、零細企業の取組みの大部分が最低生存水準で、その大半が女性であることを鑑み、この優先事項において、多方面にわたる単純生産・単純加工に焦点を当てた支援が必要である。

7. 政府が零細企業に対して５０%の買入れを行うことを義務および任務だとする零細企業（MyPE）制度の承認にむけて加速する一方、女性による主導権を優先しなければならない。

8. 小規模・零細企業の大部分が最低生存水準であり、その他は多方面にわたる単純生産・単純加工であることを考慮した上で、MyPE 副省が確立した新審査制度に基づき、小規模・零細企業の段階的区分による課税を優先議題とする。

9. 2025 年計画において検討された住宅による融資を資本金融資プログラムの中で考慮する。

10. エルアルト市の女性企業家にとって競争の激しい商取引に取組むことは相当な困難を伴うが、とは言え、密輸や中古衣類を率先させることはできない。そのため、世界各地で行われているように、国内製品に対する何らかの防護壁や保護を具現化することを要求している。

11. 私達は、自尊心を持って、女性労働者が自らの製品やサービスを市場に紹介できるよう、国、地域、地方などあらゆるレベルの様々な生産見本市に参加してゆく。と同時に、催事会場を設置・運営しなければならない。

12. 以上のことを、中小企業向けの様々なプログラムやプロジェクトの中で考慮するよう、今後開催される市議会のメンバー、自治体（ETA）および中央政府に対して要望する。

この文書はエルアルト市にて採択される。

【Photo 1】

写真１: エルアルト自治体、生産性および競争力部門（EPC-UC）と、グレゴリア・アパザ商業地区女性促進協会（CPMGA）における零細企業地域連合（FERM y PE）が参加した第１回サミット開会の様子。産学官セクター間における労働力の統合を達成できた。

【Photo 2】

写真２: 零細企業省副大臣バズルコ・マルティン氏が小規模・零細企業部門の経過を説明した。

【Photo3】

写真 3: セクター内の問題を認識して、包括的な提案を行うグループワークの様子。

【Photo4】

写真 4:　ボリビア―チリ全国中小零細企業連合（CONAMYPE）とエルアルト市零細企業地域連合（FERM y PE）の立会いの下、エルアルト市長が提案を発表した。

クリックして下さい。
元の画面に戻ります。